

## 西洋史籍講読3－III

科目ナンバリング HEA-405  
選択必修 2単位

能勢 和宏

### 1. 授業の概要(ねらい)

エリック・ホブズボーム『20世紀の歴史(上)』を読む。ホブズボーム(1917～2012)はヨーロッパ近現代史の分野において、世界でも最もよく知られた歴史家の一人である。特に彼が提唱した「長い19世紀」、「短い20世紀」という概念は、近現代の歴史を学ぶ上で必須のものとなされている。この授業では『20世紀の歴史』の輪読を通して、現在の世界が構築されていった歴史的な経緯を学ぶ。

前期では、第一次世界大戦の勃発から1960年代の高度経済成長期までの時期を扱う。

### 2. 授業の到達目標

- ① 研究書を読解し、要約する能力を身につける。
- ② 20世紀という時代の歴史的な特徴を説明できるようになる。

### 3. 成績評価の方法および基準

授業への参加(40%)、発表および期末レポート(60%)

### 4. 教科書・参考文献

教科書

エリック・ホブズボーム著、大井由紀訳 『20世紀の歴史――両極端の時代――(上)』 ちくま学芸文庫

### 5. 準備学修の内容

毎週1章ずつ進めていくので、該当箇所を事前に読み授業に参加すること。  
なお本はMELICに指定図書として配置している。

### 6. その他履修上の注意事項

発表分担者以外にも質問やコメントを通して授業に必ず参加すること。

### 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスと発表の分担決め
- 【第2回】 教員による発表方法の説明
- 【第3回】 ファシズムの台頭に関する映画鑑賞
- 【第4回】 1章「総力戦の時代」を読む
- 【第5回】 2章「世界革命」を読む
- 【第6回】 3章「奈落の底へ落ちる経済」を読む
- 【第7回】 4章「自由主義の陥落」を読む
- 【第8回】 5章「同じ敵に抗って」を読む
- 【第9回】 第二次世界大戦後のヨーロッパに関する映画鑑賞
- 【第10回】 6章「芸術」を読む
- 【第11回】 7章「帝国の終わり」を読む
- 【第12回】 8章「冷戦」を読む
- 【第13回】 9章「繁栄の時代」を読む
- 【第14回】 アルジェリア戦争に関する映画鑑賞
- 【第15回】 前期のまとめ